

裁判官による出張講義同行ルポ ～ 2018.10.31 ～



【愛知県立小牧南高校】

講師を担当したのは、名古屋地方裁判所刑事第5部の西山志帆裁判官です。講義を行う前に西山裁判官にお話を聞いてみました。

Q 高校生の皆さんの前で講義を行うにあたり、準備などで工夫した点はありますか。
(西山裁判官)

将来、裁判員に選ばれるかもしれない高校生の皆さんに、どうすれば制度に関心を持ってもらえるのか、皆さんが何を聞きたいのかを考えながら準備しました。



【講義を行う西山裁判官】

平成30年10月31日、愛知県小牧市にある、愛知県立小牧南高校で裁判官による出張講義が行われました。

小牧南高校は、「知・行・恕（ち・こう・じょ）」の校訓のもと、アクティブ・ラーニングによる授業を行い、生徒全員がより深く学び、「思考力・判断力・表現力」を磨けるように努めていらっしゃいます。



【講義を受ける小牧南高校1年生のみなさん】

今回、講義を聞いてくれたのは319名の1年生の皆さんです。

講義の中では、裁判官としての経験を踏まえながら、裁判所や裁判官の仕事、そして民事裁判や刑事裁判の説明がありました。

また、裁判員制度について、制度の目的や裁判員に選ばれるまでの流れ、実際に裁判員に選ばれたら何をするのかといった点の説明がありました。生徒の皆さんは配布されたパンフレットをめくりながら、熱心に講義に耳を傾けていました。

講義の終盤では、裁判官が実際に法廷で着る法服を披露しました。せっかくの機会なので、生徒の皆さんにも法服を着てもらいました。



裁判員制度



【法服を着る様子】

感想を聞かれた広さんは、「ハリポッターの世界に入ったような気分。」「実際着てみると着づらいです。」などと答えてくれました。

最後に西山裁判官から、「是非裁判所に傍聴に

来てください。そして、将来、裁判員候補者に選ばれたときに今日の講義を思い出してくれたら嬉しいです。」とのメッセージがありました。

講義後、4名の生徒さんと地歴公民科の長田先生に、講義の感想などをお聞きすることができました。

Q 今回、裁判所に出張講義を依頼されたきっかけを教えてください。

(長田先生)

裁判員制度について、制度に精通している方から直接講義を受けることで、生徒たちが将来、裁判員の役目を担うことになったときにスムーズに行えるようにしたいとの思いから依頼をしました。

Q 本日の講義の感想を聞かせてください。

(加藤さん)

国民として、裁判員制度というものは知っておかないといけないと思いますが、なかなか知る機会がないので、このような機会を設けていただいて、とてもためになりました。

Q 将来、もし裁判員に選ばれたら、やってみたいと思いますか。

(上田さん)

裁判員に選ばれたら、不安は感じると思いますが、講義を聞いて裁判員裁判が一般人にも理解できるように色々工夫されているということがわかったので、もし選ばれたら、やってみたいと思いました。

(村松さん)

裁判には法律の知識が必要だと思っていましたが、裁判官にしっかりと説明してもらえらるのなら、自分が裁判員になっても、そこまで不安はないのかなと感じました。

Q 本日の講義を聞いて、今後に向けて何か考えたことがあれば教えてください。

(角田さん)

裁判員制度について具体的なイメージを持つことができました。今日、自分たちが知ったことを、知らない人にも伝えていかないといけないと思ったので、私も裁判員制度について積極的に話してみようと思います。



～愛知県立小牧南高校の皆さん、
ご協力ありがとうございました～

※ 裁判所では、裁判官による出張講義を行っています。ご興味をお持ちいただいた方は、お近くの地方裁判所総務課までお問い合わせください。

各地方裁判所の広報行事については、ウェブサイトもご覧ください。

〇〇地裁 広報活動

検索